

1. 日 時 令和2年1月24日（金）午後6時～午後8時00分

2. 出席者

豊泉会長、和田委員、峰岸委員、稲葉委員、小坂委員、坂本委員、太田委員、
内野委員

3. ご挨拶

会 長：22期の第1回の審議会となります。活発なご議論をいただき、文化財
行政を進めて参りたいと思います。よろしくお願いたします。

4. 辞令交付及び、正・副会長の選出

事務局：辞令につきましては、机上にお配りさせていただきましたので、省略
とさせていただきます。

委 員：会長、副会長につきましては、前期より全委員が留任していますので
引き続き豊泉会長、白川副会長にお引き受けいただきたい。

各委員：了承。

事務局：白川委員は本日ご欠席ですので、後日改めてご依頼のうえ、ご意向を
お伺いたします。

5. 報 告

1) 事業報告及び事業予定について

事務局より「歴史民俗資料館・古民家園来館者数一覧」、今年度10月から
1月までの「歴史民俗資料館・古民家園事業報告」、1月から4月までの
「歴史民俗資料館・古民家園事業予定」について、各資料にそって説明。

2) 埋蔵文化財調査について

事務局より、今年度10月から1月までに現地調査を行った「埋蔵文化財調
査報告」について、資料にそって説明。

3) 指定文化財の管理等状況について

事務局より、「指定文化財の管理等状況」について、資料にそって説明。

委員：大幟は自治会蔵だが、現状所有しているとの実感はないと思う。寄贈なり、整理をした方がよい。

委員：国宝石幢の基礎や幢身内のコンクリート打設が大正時代となっているが、昭和ではないのか。

事務局：関東大震災で倒壊し、台石とのほぞ部分が破損した箇所もあり、自立させるため地中に基礎を作ったので、昭和の初期と思われます。

委員：昭和30年代ではなかったか。

事務局：覆い屋が作られたのが昭和29年です。

委員：石幢内の鉄芯とは、鉄筋のことか。

事務局：昭和60年代の修理の際、笠石を外したところ鉄芯が確認されたが、鉄筋かは不明。また、震災後の修復について東京府の報告書には、鉄芯は台石を貫いていないと記載されているが、建築の専門家からは、それでは強度的に意味がないと言われておりますので、実際は貫いている可能性は否定できません。しかし、今回の調査ではそこまで確認はできませんでした。

委員：普濟寺資料の調査等について、市史との関係はどうなっているのか。

事務局：どのような資料が存在しているかの把握はしているが、詳細な調査まではしていないとのこと。指定に向けた個別詳細な調査は、今後進めていく必要があります。

委員：昭島の広福寺にも普濟寺の資料が保管されていたと思うが。

事務局：そちらについても同様です。また、広福寺のご住職のお話では、近世以降の資料が主とのこと。

6. 議 題

1) 阿豆佐味天神社設置看板について

事務局より、「阿豆佐味天神社設置看板」について、資料に沿って説明。

委員：建築様式等、もっとルビを振った方が好い。

委員：延喜式に載っている式内社を、延喜式内社といってもわからないのではないか。

委員：地名の表記で、殿ヶ谷とヶになっているが、ヶではないのか。

事務局：建築様式等に、もっとルビを表記します。

延喜式内社については、他の看板表記を確認するなどして記載することと

します。

殿ヶ谷については、当地の行政団体の標記に準じたものです。

委員：看板表記の方法は、市としての考え方等を整理し、決めて置いた方がよいだろう。

2) 「改訂版― 立川の歴史散歩 ―」再改訂について

事務局：次年度、再改訂をすることとなったので、新たに掲載した方がよい等お気づきになられた点等ご意見をいただきたい。また、各分野別での編集にもご協力を賜りたいので、よろしく願いいたします。

3) 歴史民俗資料館再編個別計画について

事務局：「歴史民俗資料館再編個別計画ワークショップ」について、資料に沿って説明。

委員：立地の問題もあり、他の施設より利用者が少ないことは高齢化や税収減の問題がある場合、10年、20年先も施設を維持できるかという点では、今のままでは不利である。しかし、施設は個別に状況が違うので、会としても市に運営面で不利にならないよう言っていく必要がある。そのような点からも、ご意見をいただければと思う。

委員：収蔵、展示、活用が一か所で出来る方が良く、機能を分散すれば人の配置等、かえって費用が掛かる等も問題もあるが、ワークショップでは決まった要素しか話ができず、あり方の本質を話し合うだけの時間はなかった。

委員：民間委託していた資料館が災害にあった際、資料の救出や回復ができずに多くの資料が失われたケースがある。基本となる部分は譲ることなく地道に進めなければだめだ。

7. 情報交換

省 略

次回開催予定：令和2年4月24日（金）午後6時～